



# iPhone 8 Plusリアカメラの交換

この修理ガイドを使ってiPhone 8...

作成者: Jeff Suovanen



## はじめに

この修理ガイドを使ってiPhone 8 Plusのデュアルリアカメラを取り外して交換します。リアカメラアセンブリは2つの各モジュールによって構成されています。一つは広角カメラそして、もう一つは望遠カメラです。

**ご注意:**このガイドは、リアカメラにアクセスしやすいようディスプレイケーブルを完全に外して、ディスプレイアセンブリを取り出します。しかし、ディスプレイケーブルを接続したままでリアカメラを取り外して交換することもできます。修理経験の豊かな方は、ディスプレイを安全に固定してケーブルにダメージを与えるリスクがない場合、時間を節約するためにディスプレイの接続をスキップすることもできます。

---

### ツール:

- Anti-Clamp (1)
- P2 ペンタローブドライバー (1)
- iOpener (1)
- ハンドル付き吸盤 (1)
- iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
- スパッジャー (1)
- ピンセット (1)
- #000 プラスドライバー (1)
- トライポイントY000 ドライバー (1)
- iPhone用スタンドオフネジドライバー (1)
- iFixit開口ツール (1)

### 部品:

- iPhone 8 Plusデュアルリアカメラ (1)
- iPhone 8 Plusリアカメラコネクタ用ブラケット (1)
- iPhone 8 Plus ディ스플레이アセンブリ用接着剤 (1)

## 手順1 — ペンタローブネジ



⚠ 作業開始前にiPhoneのバッテリーを25%以下まで放電してください。充電されたリチウムイオンバッテリーは、バッテリーに穴が空いた場合、引火や爆発の恐れがあります。

- 分解を始める前に、iPhoneの電源を切ってください。
  - iPhone下部底面に留められた3.5 mmペンタローブネジを2本を取り外します。
- ⓘ iPhoneのディスプレイを開口すると、防水用シールを破壊してしまいます。この手順以降の作業には、[交換用シール](#)を準備してください。シールを交換しないで組み立てる場合は、防水機能を失っていますのでご注意ください。

## 手順2 — ひび割れた画面の上にテープを貼る



① iPhoneの画面が割れてしまった場合、ガラスをテーピングで覆えば、さらなる破損の広がりを抑えることができます。また修理中に発生するアクシデントを防ぐことができます。

- iPhoneの画面全体に、透明な梱包用テープを重ね合わせます。

⚠ 作業中、飛散する可能性のあるガラスから目を保護するため、安全眼鏡を着用してください。

- 次の手順でうまく吸盤が装着しない場合は、強力なテープ（ガムテープなど）を持ち手に折って、代わりにスクリーンを持ち上げてみてください。

① それでもうまくいかない場合は、吸盤カップに瞬間接着剤をつけて、スクリーン上に貼り付けてください。

### 手順3 — リバースクランプの使用法



- 次の3つの手順では、デバイスの開口作業を簡単にするために開発されたツール、リバースクランプの使い方を紹介します。リバースクランプを使用しない場合は、この3つの手順をスキップして別の方法をご覧ください。
- ① リバースクランプの詳細な使用方法については、[こちらのガイド](#)をご覧ください。
- 青いハンドルを後方に引き、リバースクランプのアームのロックを解除します。
- iPhoneの左/右側の端に向けてアームをスライドします。
- 吸盤カップを、ホームボタンすぐ上のiPhoneの下端付近に装着します。上部に一つ、下部に一つずつ取り付けます。
- 吸盤カップ両側をしっかりと握って、当てたい位置に吸引力を加える、装着します。
- ① デバイスの表面が滑りやすく、リバースクランプがしっかりと装着できない場合は、[梱包用テープ](#)で表面を覆ってから、強いグリップを作ることができます。

## 手順 4



- 青いハンドルを手前に引くと、アームがロックされます。
- ハンドルを時計回りに360度回転させ、カップが両側をストレッチするまで回し続けます。
- 吸盤の位置が合っていることを確認してください。 装着位置がずれ始めたら、吸盤を少し緩めてアームを装着し直してください。

## 手順 5



- [iOpener](#)を熱して、リバースクランプのアームに通します。
- ① [ヘアードライヤー](#)、[ヒートガン](#)、ホットプレートを使うこともできますが、極度の熱はディスプレイや内蔵バッテリーを損傷させる可能性があるため、注意してください。
- iOpenerをiPhoneの下端に重なるように折ります。
- 接着剤がはがれて、隙間ができるまで1分待します。
- クランプで十分な隙間が作れたら、スクリーンのプラスチックベゼルの下にオープニングピックを挿入します。
- ① クランプで十分な隙間が作れない場合は、さらに接着面に熱を当てて、クランプを1/4程度時計回りに回してください。
- ⚠ 一回ごとの作業で1/4以上回さないでください。クランプをまわしたら数秒間待ってください。リバースクランプの効果を待ってから、作業を続けてください。
- 次の3つの手順はスキップしてください。

## 手順 6



- ① 次の3つの手順では、吸盤を使ってスクリーンを乖離します。
- ① iPhoneの下端を加熱すると、ディスプレイを固定している接着剤が柔らかくなり、開きやすくなります。
- ヘアドライヤーを使用するか、[iOpener](#)を準備し、ディスプレイ裏側の接着剤を柔らかくするために、iPhoneの下端に約90秒間あてます。

## 手順 7



- ホームボタンのすぐ上にあるフロントパネルの下半分に吸盤を取り付けます。
- ① 吸盤カップをホームボタン上に装着しないでください。吸盤カップをしっかりとフロントガラスに固定するためです。

## 手順 8



- 一定の力で吸盤カップを引き上げて、フロントパネルとリアケースの間にわずかな隙間を作ります。
- 隙間に開口ピックまたは薄い開口ツールを挿入します。
  - ① ディスプレイを所定位置に固定する防水性接着剤は非常に強く、最初の間隙を作るにはかなりの力を要します。なかなか隙間ができない場合、さらに熱を加えたり、ピックを挿入できるだけの十分な隙間を作るために画面を上下にゆっくり揺り動かして接着剤を弱めます。

## 手順 9



- 開口ピックを左下からiPhoneの音量コントロールボタンとサイレントスイッチの方向にスライドさせて、ディスプレイを固定している接着剤を剥がします。
- ディスプレイの左上隅付近で停止します。

## 手順 10 — スクリーン情報



⚠️ iPhoneの右端に繊細なケーブルがあります。ここにピックを差し込まないでください。ケーブルを傷つける恐れがあります。

## 手順 11



- iPhoneの右下隅に開口ピックを再度差し込み、角を回ってiPhoneの右上にスライドさせて接着剤を剥がします。

⚠️ ディスプレイケーブルを損傷する恐れがあるので、ピックを3mm以上差し込まないでください。

## 手順 12



- ディスプレイの下端を押さえながら、吸盤カップをゆっくりと引き上げます。

⚠ ディスプレイを15°以上持ち上げないでください。ディスプレイが接続されたりボンケーブルを傷つけたり、破損する恐れがあります。

## 手順 13



- 吸盤カップの小さな持ち手(ノブ)を緩めて、フロントパネルから取り外します。

## 手順 14



- ディスプレイ下の開口ピックを左上の角からiPhoneの上端に沿ってスライドさせて、残りの接着剤を剥がします。

## 手順 15



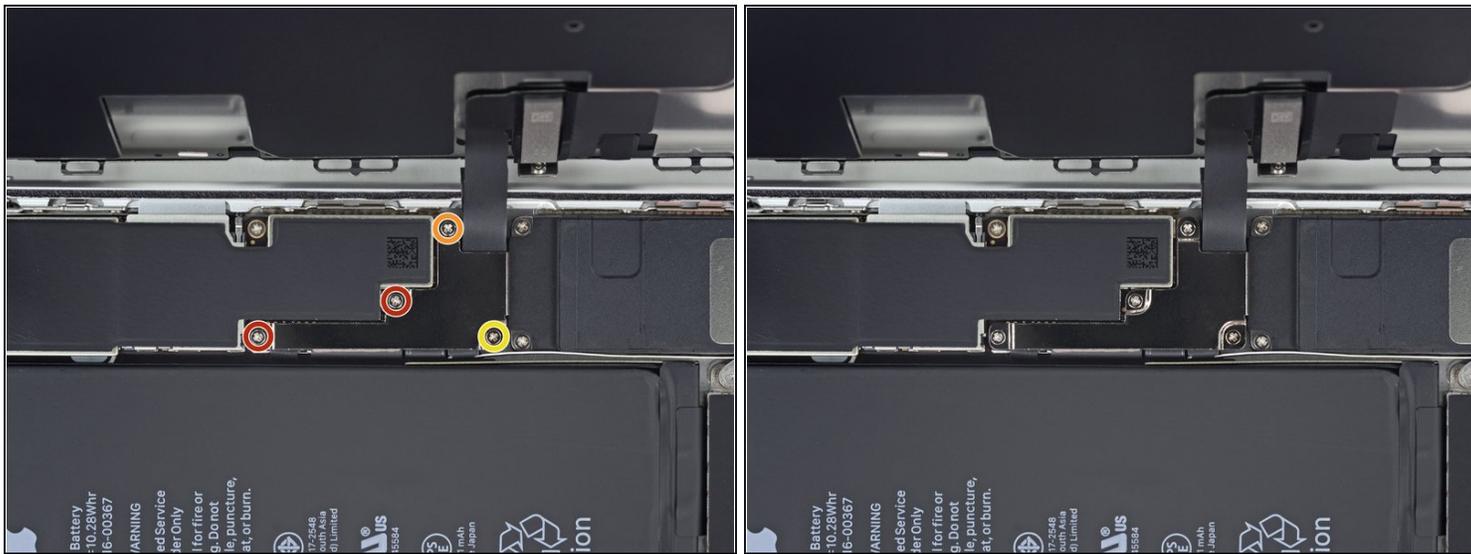
- ディスプレイアセンブリをわずかに下に（iPhoneの上端から離して）スライドさせて、リアケースに固定しているクリップを外します。

## 手順 16



- 本のページをめくるように、ディスプレイの左側を持ち上げてiPhoneを開きます。  
⚠️ いくつかの壊れやすいリボンケーブルがまだiPhoneのロジックボードに接続しているの  
で、ディスプレイを完全に外そうとしないでください。
- 作業がしやすいように、iPhoneを開口をしたままディスプレイの後ろに衝立を置き、立てかけてください。

## 手順 17 — バッテリーの接続を外します



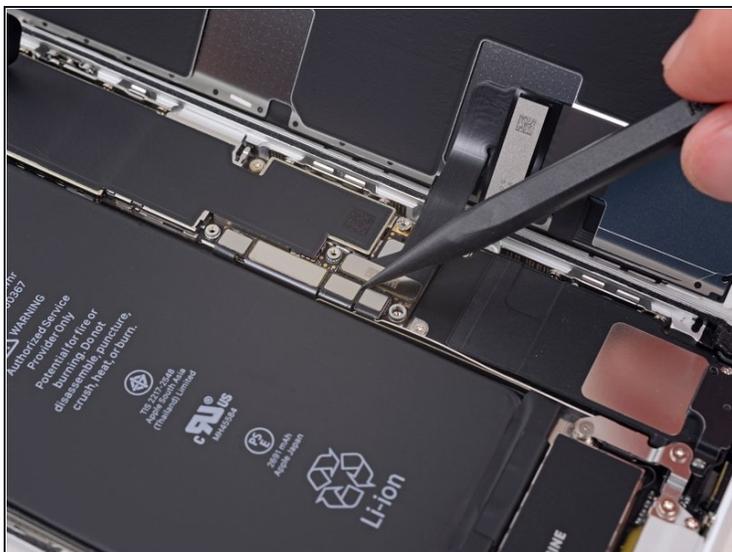
- 基板とディスプレイケーブル下側のブラケットを固定している次の長さの4本のプラスネジを取り外します。
  - 2本の1.3 mmネジ
  - 1本の1.4 mmネジ
  - 1本の2.7 mmネジ
- ☑ この手順では**外したネジを長さ別に保管してください**。再組み立ての際、正しい位置に戻さなければなりません。間違った場所にネジを装着してしまうと、ダメージにつながります。

## 手順 18



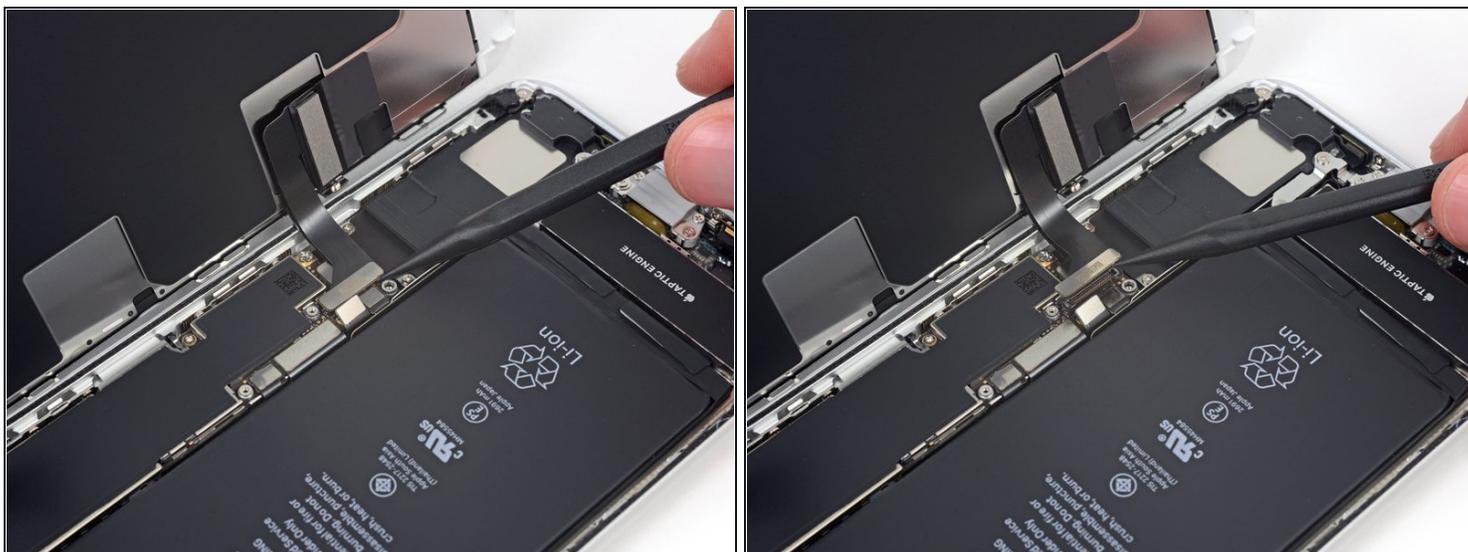
- 下側のディスプレイケーブルのブラケットを取り外します。

## 手順 19



- スパジジャーの先端を使って、基板上のソケットからバッテリーコネクタの接続を外します。
- バッテリーコネクタケーブルを基板から少し離して曲げます。アクシデントでケーブルがソケットに接触してしまい、iPhoneの電源が入らないようにするためです。

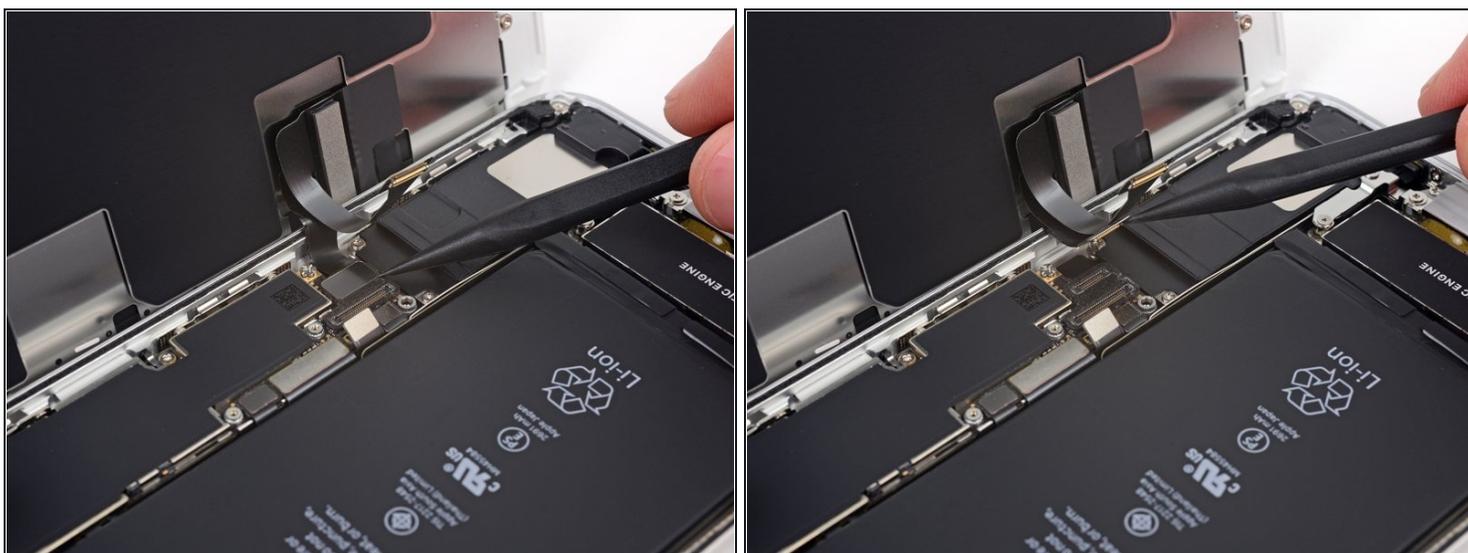
## 手順 20 — ディスプレイアセンブリ



- スパッツァーの先端か爪を使用して、ディスプレイ下側にあるコネクタをソケットから外します。

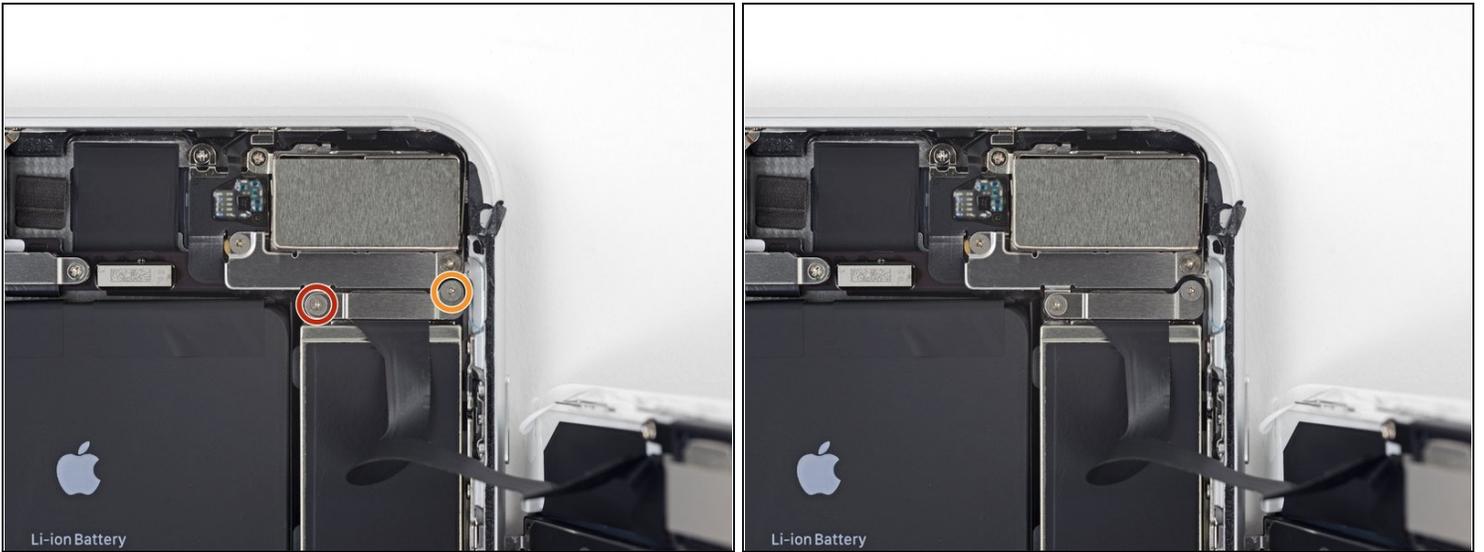
☑ このようなプレスコネクタを再装着するには、片方の端がカチッと音がするまで押し、次に反対側も同様に押します。中央部分は押さないでください。コネクタの位置がちょっとでもずれていると、コネクタが曲がってしまい、永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

## 手順 21



- 前の手順で外したコネクタのすぐ後ろにある、下から2番目のディスプレイケーブルの接続を外します。

## 手順 22



- フロントパネルのセンサーアセンブリコネクタとブラケットを固定している2本のtri-point Y000ネジを取り外します。
  - 1本の1.0mmネジ
  - 1本の1.2mmネジ

## 手順 23



- フロントパネルのセンサーアセンブリのコネクタを覆っているブラケットを外します。

## 手順 24



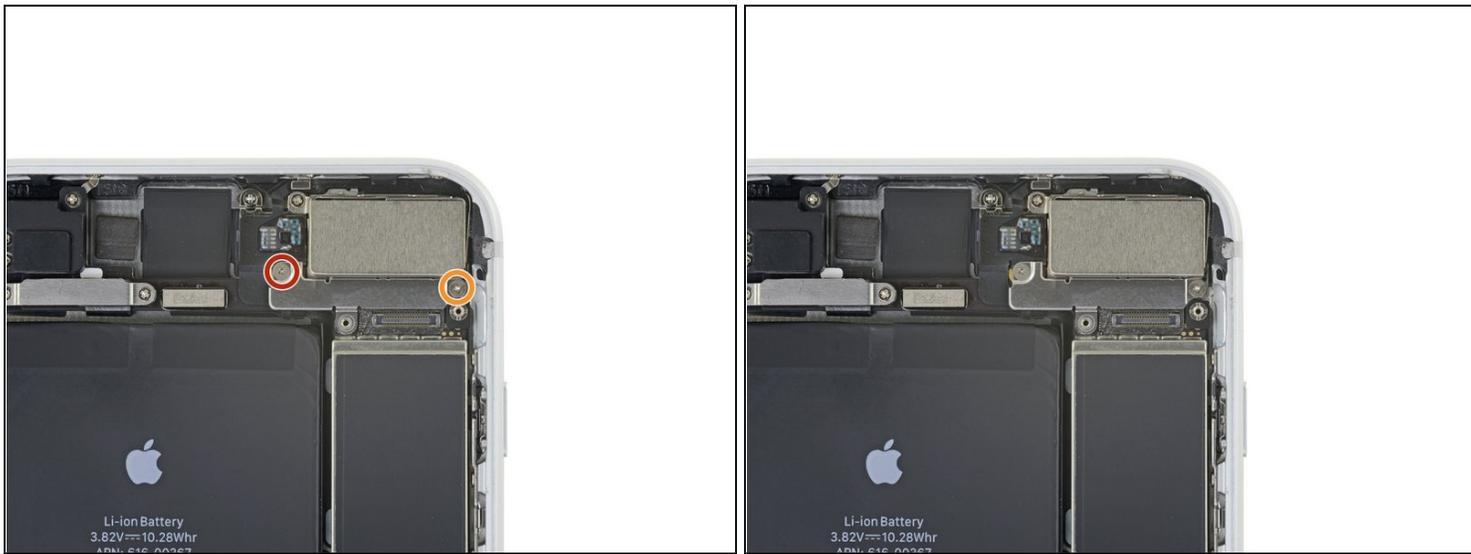
- スパッジャーの先端か爪を使って、フロントパネルのセンサーアセンブリのコネクターをソケットから外します。

## 手順 25



- ディスプレイアセンブリを取り外します。
- ☑ 再組立中に、[ディスプレイ周辺に付ける接着剤を交換する](#)場合はここで停止してください。

## 手順 26 — リアカメラ



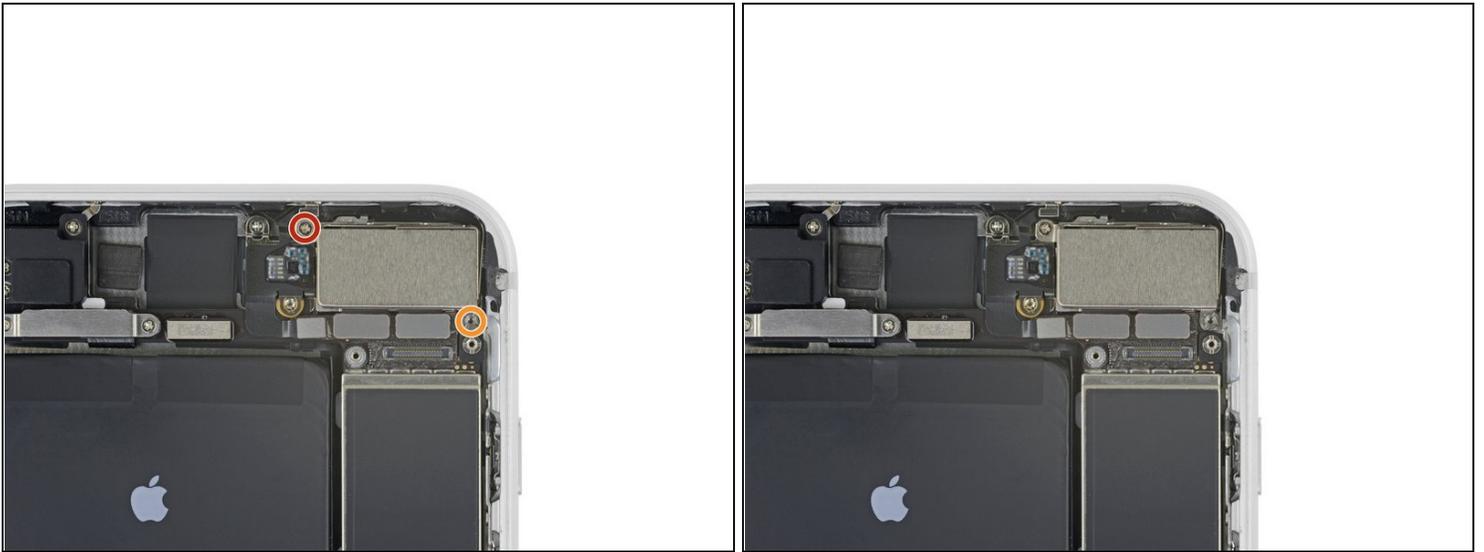
- リアカメラのコンタカバーブラケットを固定しているY000 ネジを2本外します。
  - 1.4 mmネジ—1本
  - 1.4 mm (非鉄金属ネジ)—1本
- ☑ このネジはマグネット素材のドライバーには装着しません。正しい場所に再装着するよう確認してください。というのも、磁気ネジがコンパスに影響を与えることがあるからです。

## 手順 27



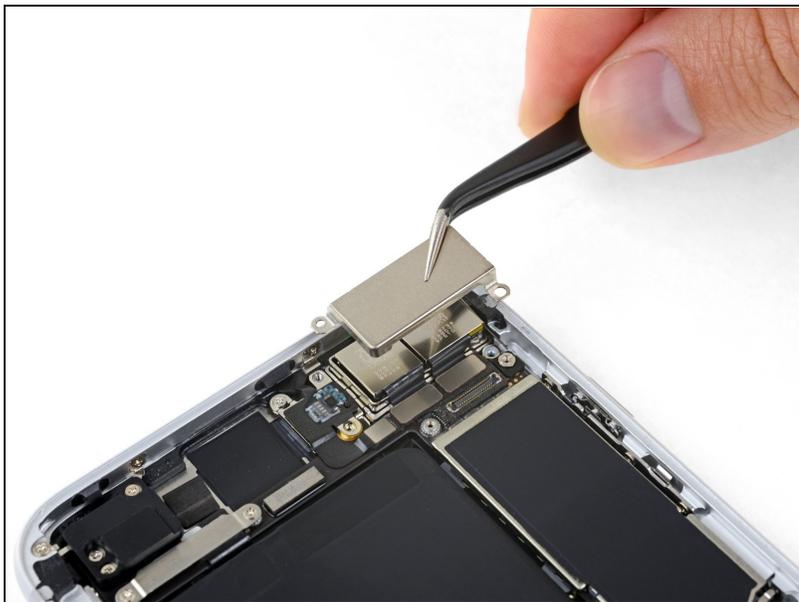
- ブラケットを取り出します。

## 手順 28



- リアカメラモジュールのカバープレートを固定している2本のネジを外します。
    - 1.8 mmネジ-1本
    - 2.7 mm (非鉄金属)スタンドオフネジ-1本
      - ⓘ スタンドオフネジは [iPhone専用スタンドオフネジ対応ドライバービット](#) もしくはビットで取り外すのが一番です。
- ⚠ 急の際には、小サイズのマイナスドライバーでも対応できますが、スリップして周りのコンポーネントにダメージを与えないようご注意ください。

## 手順 29



- リアカメラモジュールからカバープレートを取り出します。

## 手順 30



- iFixit特製開口ツールもしくは指の爪先を使って2つのカメラケーブルコネクタをソケットからまっすぐ跳ね上げて、接続を外します。

## 手順 31



- スパッジャーの平面側先端を使って、リアカメラアセンブリをiPhoneの上部端から引き上げます。
- ① 上手く作業が進まない場合は、違うタイプのスパッジャー先端に切り替えて、上部右側のコーナーからカメラを取り出します。

## 手順 32



- リアカメラアセンブリを取り出します。

---

交換用のパーツとオリジナルのパーツを見比べてください。残りのコンポーネントを移植する必要があるか、パーツを装着する前に接着剤の裏張りを取る必要があります。

デバイスを再組み立てするには、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

不要になった電子廃棄物は [認証済みリサイクルセンター](#) で処分してください。

修理が上手く進みませんか？トラブルシュートのヘルプには [Answers community](#) を参照してください。